

事務事業名		現年林道災害復旧事業		所属部	産業振興部	所属課	農林土木課
総 計 画 体 系	政策名	(V)賑わいあふれる雲南市《産業・雇用》		所属G	農林道G	課長名	渡部克彦
	施策名	(34)林業の振興		担当者名	渡部高志	電話番号	0854-40-1053
	目的 対 象	A)市内の森林所有者 B)市内 の森林	意 図	A-1)木材生産量を拡大する。A-2)森林資源 を活用する。B)適正に保全する。		(内線)	3710
	基本事業名	(102)適切な保育管理		予算科目	会計 款 大事業 大事業 0 1 5 5 0 1 事業名 項 目 中事業 中事業 0 5 2 0 0 1 事業名	林道災害復旧事業 現年林道災害復旧事業	
目的 対 象	市内の森林		意 図	森林を適正に保全する。			

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (24 年度 ~)
	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	豪雨災害により、土砂崩壊、路肩決壊などの 被災を受けた林道を原形復旧する事業であ る。災害として認められる基本事項として、連 続雨量80mm以上をクリアすること、また災害 規模としては、被害額が40万円以上であるこ とが必要となる。
基本補助率	奥地 65% その他 50% 高率補助の適用あり(災害発生路線の 既設延長等から算定)

(2) 事務事業の手段・指標

手 段	① 主な活動	25年度実績(25年度に行った主な活動)	26年度計画(26年度に計画する主な活動)			
		現場確認 測量設計委託 査定 復旧工事(現場管理)	天候(豪雨、梅雨前線、台風、豪雪)状況 による			
	② 活動指標	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (計画)
	ア 復旧事業費(現年)	千円	28,012	1,280	6,525	0
	イ 復旧事業費(繰越)	千円	0	9,006	2,289	9,625
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目 的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (計画)
	被災箇所	ア 申請箇所数	箇所	9	3	2	3
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (計画)	
被災箇所の復旧を図る	ア 竣工箇所数(現年)	箇所	9	1	1	0	
	イ 竣工箇所数(繰越)	箇所	0	2	1	3	
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (25年度決算)	② コストの推移	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)	
【現年(25年災)】4箇所 工事費:5,111千円 委託費:1,208千円 事務費:206千円	財 源 内 訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円	18,890	5,619	3,954	4,527
		地方債	千円	10,600	200	3,400	3,300
		その他	千円				
【繰越(24年災)】1箇所 工事費:2,289千円	一般財源	千円	2,494	4,467	1,460	1,798	
	事業費計(A)	千円	31,984	10,286	8,814	9,625	
	正規職員従事人数	人	2	6	3		
	延べ業務時間	時間	300	1,800	1,000		
	人件費	千円	1,183	7,052	3,893		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	33,167	17,338	12,707		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対 象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始 時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革 改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して 市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や 要望が寄せられているか?)
単年の災害発生件数により事務量が大幅に 変化するが他の類似事業(土木災害)に比べ 事務量が多く、近年より詳しい資料の準備を 要求されてきている。	特記事項なし	早期復旧の要望あり。

事務事業名	現年林道災害復旧事業	所属部	産業振興部	所属課	農林土木課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	原形復旧を原則としており向上余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	市有財産の管理であり、森林の荒廃へつながる。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	災害復旧事業の要綱に基づき実施。		
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		工法検討により、経済的なものを選択しており、これ以上の削減余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		最低限の人数で対応しており、これ以上の削減余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由		市が管理する林道であるため受益者からの負担はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
		B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
被災箇所の早期復旧に努めた。来年度以降も従来どおりで改善は必要なし。				

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下	×	×																
農林水産事業施設災害復旧事業根拠法令に基づき事業を実施していることから、今後においても急激な変化はないものと考えられる。これまで同様の業務を行う。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下は改革・改善とはならない。</p>																		